

特集

“はじめて”の 在宅緩和ケア

実践編

1号に引き続き、「在宅緩和ケア」を特集します。
今月は「実践編」です。

前号では、在宅緩和ケアを行なう「心構え」を押さえるとともに、そのさまざまな専門性が明らかになりました。
本号では、そのなかから、

- ・「病院との連携」による退院前からの関わり
 - ・終末期患者さんの多岐にわたる「アセスメント」のポイント
 - ・「疼痛緩和」に不可欠なオピオイドロテーション
 - ・ターミナルケアにおける「医療／介護保険制度の活用」
 - ・「看取りの準備」と「エンゼルケア」について、
- その「実践」のエッセンスを、先達の取り組みに学びます。
利用者さん・ご家族に安心して在宅で過ごしていただくために、
チームで多方面から取り組む在宅緩和ケアの実践はもっと幅広いのですが、
まずはここからスタート。
今後、家族ケアやデスエデュケーションなどのアドバンスド編も
企画していきたいと思っています。